

ティーチング・ポートフォリオ

筑波学院大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科
常木 麻衣

教育の責任

本学では、博物館学芸員課程に関する 10 科目、地域づくりに関わる 3 科目、デジタルアーキビスト概論、及び 1～2 年生の基礎ゼミを担当している。2022 年度の担当科目は下記の通りである。

科目名	対象 学年	受講 人数※	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける位置づけ)
生涯学習概論	2-4	17	講義	選択	専門基礎・共通
博物館資料論(ミュージアム資料論)	2-4	22	講義	選択	専門基礎・共通
博物館概論(ミュージアム概論)	2-4	21	講義	選択	専門基礎・共通
博物館情報・メディア論(ミュージアム情報・メディア論)	2-4	20	講義	選択	専門基礎・共通
博物館資料保存論(ミュージアム資料保存論)	2-4	4	講義	選択	専門基礎・共通
博物館経営論(ミュージアム経営論)	2-4	12	講義	選択	専門基礎・共通
博物館展示論(ミュージアム展示論)	2-4	16	講義	選択	専門基礎・共通
博物館教育論(ミュージアム教育論)	2-4	21	講義	選択	専門基礎・共通
博物館実習 I (ミュージアム実習 I)	4	3	演習	選択	専門基礎・共通
博物館実習 II (ミュージアム実習 II)	4	3	演習	選択	専門基礎・共通
観光地域づくり(エンターテイメントツーリズム)	2-4	11	講義	選択	専門基礎・共通
地域文化資源のデザイン	3-4	22	講義	選択	専門基礎・共通
地域文化資源とミュージアム	3-4	11	講義	選択	専門基礎・共通
デジタルアーキビスト概論	3-4	7	講義	選択	専門基礎・共通
基礎ゼミ 1	1	6	講・演	必修	入門科目群
基礎ゼミ 3	2	12	講・演	必修	入門科目群
基礎ゼミ 4	2	12	講・演	必修	入門科目群

教育の理念

博物館資料の収集、展示、教育、運営など博物館に関する基礎を身につけることが大切である。また、博物館と地域との関わりについて、学生自身が考え理解し、さらに問題提起し、その解決方法へと導く力を養うことを目的に授業を展開している。学生自身が課題を見つけることが一番重要であるため、授業内では様々な角度から題材を集め、学生自身で問題点を発見できるような授業展開を心がけている。

教育の方法

・参加型授業

学生自身が積極的に授業に参加できるよう、学生の意見を聞くことや発表時間を設け、毎回授業に参加している意識を高めるよう心がけている。定期的に PPT 作成課題を出すことで、自ら調べ、それを発表する機会を設けている。また、発表の時間には、相手の意見を聞くこと、疑問を持つことを習慣づけるよう、発表者以外に必ず質問の時間を設けている。このように、コミュニケーション能力の向上を図るため、相互方向での授業を実施している。

- ・PPT や動画などの視覚教材の活用

授業の進め方は、写真や図表を用いた PPT を用いて、わかりやすく授業を行うことを心がけている。PPT の内容もなるべく簡潔に、一つのスライドに多くの情報を詰め込めすぎないようにしている。また、動画などの映像資料を用いて、学生の視覚に訴えるような授業を心がけている。

- ・学内外での実習の実施

博物館実習では、学内と学外の博物館で実習を実施している。学内実習では、歴史系博物館の基礎となる資料の取り扱い方法を学び、学外実習では、地域の博物館と連携し、学生の受け入れをお願いしている。

- ・授業のフィードバックや個別面談

授業の提出物や、発表・コメントについては、その都度、授業内でフィードバックを行なっている。基礎ゼミについては、半期に一度個別面談を実施している。また、必要に応じて学内での共有や保護者との共有も行う。

教育の成果 および 今後の目標

・2022 年 4 月に赴任してから半年足らずのため、十分な教育の成果はまだ上がっていないが、第 1 回目の授業評価では概ね好評であったため、今後も授業内容を改善しながら進めていく。また、今後の目標は、問題提起と解決方法の導き方について、学生自身で考えられるような授業展開を実施していくため、学生の発言機会を増やし、学生同士が協力して問題解決に導けるよう取り組んでいきたい。

参考資料

なし